



(お知らせ) 学生企画シンポジウム
「生活保護200万人時代のセーフティーネットを考える
～労働者の生活保障と日本の雇用政策～」の開催について

開催概要: 「雇用と生活保障のあり方」をテーマに市民・学生向けに開催

近年、日本の雇用の在り方は大きく変化し、それにともなって求められる生活保障のあり方も変化してきています。このような状況を受け、社会保障制度や雇用政策に関して様々な立場から議論がなされるようになりました。今回のシンポジウムでは、**学生である私たちが当事者としてこの問題を取り上げ、あるべき生活保障の姿を考えていきます。**さらに専門家であるゲストの方々との議論を交えることで、より実りのあるものにしていこうと思っています。

日程: 2011年11月12日(土) 13:30~17:00

場所: 北海道大学クラーク会館(札幌市北区北8西8) ※JR札幌駅より徒歩10分

企画: 北海道大学公共政策大学院 院生シンポジウム委員会

協賛: 北海道大学公共政策大学院 **後援:** 札幌市

参加対象: 一般市民・学生

参加費: 無料

申込: 不要

言語: 日本語

プログラム

第1部 院生発表 公共政策大学院 院生2名

第2部 パネルディスカッション

〈パネリスト〉 石垣 健彦 氏(北海道経済部労働局長)

片岡 麻衣子 氏(北海道新聞東京支社編集局報道センター)

他 院生2名

〈コーディネーター〉 松本 勝明 教授(北海道大学公共政策大学院)

お問い合わせ先

〈報道機関の方のお問い合わせ先〉

北海道大学公共政策大学院 院生シンポジウム委員会(担当: 志茂^{しも})

E-mail: hopssymposium2011@hops.hokudai.ac.jp

〈一般の方のお問い合わせ先〉

北海道大学公共政策大学院 秘書室 TEL: 011-706-4716(平日9:00~17:00)

生活保護

この社会で
安心して働けますか？

200万人時代の セーフティネットを 考える

労働者の生活保障と日本の雇用政策

日時

11月12日 土
13:30 ~ 17:00

会場

北海道大学クラーク会館講堂
(札幌市北区北8条西8丁目)

入場無料
定員 300名
(事前予約不要)

プログラム

第1部 院生発表
第2部 パネルディスカッション

パネリスト

北海道経済部労働局長

北海道新聞東京支社編集局報道センター

北海道大学公共政策大学院教授

石垣 健彦

片岡 麻衣子

松本 勝明

・後援 札幌市

・お問い合わせ

北海道大学公共政策大学院
TEL, FAX 011-706-4716
E-MAIL hopsymposium2011@hops.hokudai.ac.jp

いま、日本の雇用のありかたは大きな転換点をむかえ、求められる生活保障の姿も変化してきています。「安心して働ける社会」を築くにはどうすればよいのでしょうか？現行の制度・運営を見つめなおし、現場の声に耳を傾けながら、労働者・雇用者・行政など多様な視点で考えていきましょう。

